

今の自分があるのはこれまでの巡り合わせがあったから。これから先も一つひとつ受けとめながら進んでいく。

# めざして 2020へ

ホッケー女子シニア日本代表として活躍中の永井友理・葉月姉妹。両親とも元日本代表選手というホッケー一家に育つ。前回のリオデジャネイロオリンピックには、当時の監督だった父・祐司氏率いる代表チームの一員として出場するも、予選リーグ突破はならず、決勝トーナメント進出を果たせなかった。しかし来年の東京オリンピック出場が決定し、二人は再び巡ってくるチャンスに照準を合わせ、技に磨きをかけリベンジを誓う。



YURI

2016 リオ五輪 対アメリカ戦

ホッケーの魅力をお聞かせ下さい。

友理 いろんな速さが求められる競技で、一番の魅力はスピード感ですね。

葉月 ゴールする瞬間とゴールの音。ゲーム展開の速さも魅力ですね。

海外チームに在籍されていたのですね。

友理 高校を卒業した時から海外には行きたくて。二十一歳の時、いろんな巡り合わせでスペインに行くことができました。スペインは個人技の国で、なかなかパスを出しません。日本とは違うプレースタイルで、勉強になりました。他の国も考えましたが、スペインで良かったと今は思っています。

葉月 アンダー U・16（十六歳以下）の日本代表で海外に遠征した時に、そのレベル

の高さに衝撃を受けて、それ以来ずっと海外に行きたいと思っていました。

でも、リオで負けて悔しい思いをした後は、「行きたい」から「行かなきゃ」に変わり、その後スペインとオランダのチームで多くのことを学びました。

お父さんは、今はお二人が所属しているソニーH C BRAVIA Ladiesの監督



2016 リオ五輪 対イギリス戦

# 頂点を Tokyo

ホッケー女子日本代表  
さくら JAPAN

永井友理 選手  
永井葉月 選手

督ですね。

友理 監督といえども親なので、言われることを素直に聞けない時もありましたが、今は公私をちゃんと分けています。監督としても尊敬できるので。

葉月 正直、最初は親子なのでやりにくいなと思っていたのですが、グラウンドに立ったら監督で、家に帰ったら父親という切り替えができていたので、他の選手みんなと同じ感覚です。

お母さんについてはどうですか。

友理 周りから母はとてもセンスのある選手だったとよく聞いていましたし、日本代表の大先輩からのアドバイスは、素直に受けとめています。

葉月 母は試合の内容よりも「ケガしてない？」というも身体のことを心配してくれるので、感謝しています。

中学校の頃から姉妹一緒にチームでプレーされていますが。

友理 最初は姉妹ということで周りからもそういう目で見られるし、妹だけ特別扱いできないと、そこはやりづらかったです。プレーでは、血がつ



ながっていることもあって、パスが目  
を合わせるだけでタイミング良く来た  
り、このあたりかなと読んで走ってい  
るところへ来たりして、すごくやりや  
すいです。一番多くパスを出してくれ  
るのは妹なので、頼りにしています。

**葉月** 私は主にパスを出すポジション  
のCHで、姉はシュートを決めるポジ  
ションのCFなんですが、パスを出  
したいと思う選手は、姉が一番かなと  
思っています。いいタイミングにリー  
ドしてくれるし、どっちに出してほし  
いか、だいたい分かるので、という  
ところは姉妹かなって思います。

**お互いのプレーヤーとしての長所はど  
こだと思われませんか。**

**友理** 視野の広さですかね。パスセン  
スもありますし、私が難しいリードを  
しても、そこにボールを出せるのはさ  
すがだなと思います。

**葉月** 姉は人一倍努力家です。朝起き  
て、いないなと思ったら走りに行っ  
たり、陰の努力ができるところは姉の  
強みであり、真似できないところだと

思います。それと、接戦の試合で最後  
に勝ち越し点を挙げる人が多いので、  
大事なところで決めてくれる頼れる選  
手だなって思います。

**生まれ持った才能もあるのでしょうか  
陰の努力もされているのですか。**

**友理** 親が監督ですから、えこひいき  
と思われずに、周りに認めても  
らえる実力を身に付けようとやってき  
ました。体力は裏切らないと思って毎  
日走り込んで、誰よりも体力をつける  
ための努力は、ずっと怠らずに続けて  
きました。

**葉月** 私は、姉が努力しているのを見  
て自分も努力しないと、というタイ  
プです。姉よりうまくなりたいという気  
持ちになるので、姉の存在があつてこ  
そ努力できるんだなと思っています。

**挫折を感じたことはありませんか。**

**友理** ホッケーをしていて、つらいこ  
とのほうが多いですし、心が折れるこ  
とも何回もありました。特にリオで負  
けてしまったことが、一番大きな挫折  
だったかなと思います。

**葉月** 一年前にオランダに行つて、慣  
れない環境でプレーして、急に「私、  
できてないな」と感じる瞬間があつて。  
少し落ち着いてから、これが挫折かっ  
て思ったんです。気持ちが整っていな  
い時とか、普段できることができない  
時にすごく挫折を感じたし、つらかつ



昨年のアジア競技大会で念願の初優勝（後列一番  
左が友理さん、前列右から三番目が葉月さん）



ながい はづき

1994年生まれ

ユース (U-16、U-18)・ジュニア日本代表。22歳より2年間スペイン、オランダのチームに所属。

ながい ゆり

1992年生まれ

ユース (U-18)・ジュニア日本代表。東海学院短期大学卒業後、21歳の時、スペインのチームに所属。

共に地元岐阜県のスポーツ少年団で、友理さんは10歳、葉月さんは8歳でホッケーを始める。中央中学校、岐阜各務野高校のホッケー部に入り、腕を磨く。現在、ソニーHC BRAVIA Ladiesに在籍。2012年よりシニア日本代表として活躍中。誠央分教会所属 (両親はようぼく、姉妹は別席運び中)

たです。でも、それがあつたからこそ、今の自分があると思います。落ち込んでいた時、家族には心配をかけるから相談せず、ソニーHCのある先輩に相談したんです。「全然できないわ」と言う。「日本に帰ってきたら? 別にいいよ。大丈夫だよ」と言ってもらえたことで「このままでは帰れない」と逆に自分を奮い立たせることができました。大きな挫折を乗り越えられたのも、

その先輩のおかげだと思います。

**今の自分につながる大切な出来事だったのでですね。友理さんはどうですか。**

**友理** 高校の時、初めて日本代表に入って、上下関係が厳し過ぎてしんどかった時に、一人優しい先輩がいて声をかけて下さいました。その先輩のおかげでやめずに続けられたし、今ここにいます。あの出会いがあつたからこそ今の今だと思っています。

**東京オリンピックにかける思いは?**

**友理** リオの時は、代表としての責任とプレッシャーで、「やらなきゃ」という苦しい思いしかなかったのですが、今は、すごくホッケーが楽しくなってきた。「やりたいな」という気持ちです。自分が結果を出してチームを優勝に導きたいと思うるので、自信を持って「メダルを目指します」と言えるようになりました。

昨年のアジア大会の優勝は、今までの苦労が報われて本当にうれしかったけど、個人的にはまだ納得できていませんでした。東京オリンピックでは自分

が活躍してチームを勝たせるくらいの勢いでいきたいと思っています。

**葉月** リオで負けて結果が残せなくて

「どこで挽回しよう」と思っていた時に、次が東京オリンピック。「もうチャンスはここしかない」と思いました。今までのホッケー人生をかけて、優勝したいと思っています。それくらい力が入っています。チームでの目標は「金メダル」です。個人としては、昨年日本リーグでMVP (最優秀選手賞) をとって、その後アジアでもMVPがとれました。あとは「世界でNo.1のプレーヤーになりたい」という目標があるので、優勝してMVPをとりたいですね。チームが一番になるから自分も一番になれる、という意気込みで全力を尽くしたいと思っています。

努力や挫折、支えてくれた人達との出会い。そして、東京オリンピックという素晴らしい時の巡り合わせ。さくらジャパンの金メダルと二人の活躍が楽しみです。

With you

Interview